

# 法教育を実践する—法教育が教科間の架け橋になるとき—

## セミナー 開催のご案内

法教育は、これまで、社会科、特に公民分野で取り扱うもの、と考えられてきたように思います。もっとも、法教育は、法や司法制度、これらの基礎になっている価値を理解し、法的なものの見方・考え方を身につける教育と定義され、その領域は社会科の枠内にとどまりません。

また、現在の学習指導要領では、総合的な学習（探究）の時間を中心に、各教科の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習活動を行う、教科横断的な学習の重要性が指摘されています。

今年度の法教育セミナーは、元国語科教員（高等学校）で、文学を題材とした模擬裁判等、複数の法教育実践に取り組まれている龍谷大学 札幌和男先生をお招きし、過去の実践や、現在まさに教材化を行っている授業についてのご報告をいただきます。

法教育を通じて習得を目指す法的なもの見方・考え方と、国語科の見方・考え方がどのように絡み合い、教科横断を実現するのか。法教育が教科横断的な学習の実現に寄与できるのか。今後の実践につながるヒントやタネが見つけれられるようなセミナーを予定しております。

開催日時	2025年3月8日（土）14:00～16:30（13:30開場）
場所	札幌弁護士会館5階会議室（札幌市中央区北1条西10丁目）
交通機関	地下鉄東西線西11丁目駅から徒歩5分
募集対象	道内の小学校・中学校・高校・大学の教員、学生
募集人数	80名（応募者多数の場合は先着順となります） ※参加費無料
セミナー概要	※内容については変更の可能性があります。

### 第1部 法教育実践に触れる（龍谷大学文学部准教授 札幌和男先生）

- ① 国語科教員から見る法教育実践
- ② 高校生文学模擬裁判選手権のご紹介～参加者の声

### 第2部 今後の実践に向けて

- ① 甲山冤罪学～大学生に向けた法教育実践
- ② 文学模擬調停～主体的で対話的な法（言語）教育授業

応募締切 2025年2月28日（金）

応募方法 裏面の申込用紙に記入の上で、下記問合せ先にFAX送信頂くか、「3月8日セミナー参加希望」の旨と裏面の申込用紙の記載事項を書いたメールを [ogawa@ogawa-lawoffice.com](mailto:ogawa@ogawa-lawoffice.com) 宛にお送りください。なお、応募者多数の場合には先着順から漏れた方にのみご連絡を差し上げますのでご了承下さい。

お問合せ 札幌弁護士会法教育委員会 副委員長 小川和晃（弁護士法人レクスペラ法律事務所内）  
電話 011-231-5678 FAX011-522-9118

主催：札幌弁護士会 共催：北海道弁護士会連合会

後援：札幌市教育委員会、北海道教育委員会、北海道新聞社（予定）

## セミナー参加申込用紙

F A X 0 1 1 - 5 2 2 - 9 1 1 8 (弁護士法人レクスペラ法律事務所) 宛

(フリガナ)	
お名前	
ご所属校名	
ご連絡先住所	(〒 )
ご連絡先電話番号 F A X 番号	TEL FAX
質問事項  ※意見交換・質疑応答で 取り上げさせていただきます ので、質問等をお寄せ下 さい。	

メールでのお申込みの際は、上記項目を記載の上、ogawa@ogawa-lawoffice.com 宛にお送りください。

※ お送り頂きました個人情報は、本セミナー関連事務にのみ使用し、その他の目的で使用することはありません。